

## 知肢併設校の特色を生かした生涯スポーツ推進の取組 ～校内ボッチャ大会～

熊本県立松橋支援学校

本校は、児童生徒 136 人の知肢併設の支援学校で、昨年、東京で開催された第一回ボッチャ甲子園への出場を契機に“ボッチャ”への取組が始まりました。ボッチャとは、ヨーロッパで生まれた重度の肢体不自由のある人のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目です。初めは、ボッチャ甲子園へ参加した高等部普通科でスタートし、今では、全校あげて“ボッチャ”に取り組んでいます。

### <職員研修>

6月21日に、熊本県ボッチャ協会から2名の講師をお招きし、ボッチャについての研修会を開催しました。また、当日は小川工業高校の生徒の皆さんも参加しました。



校内ボッチャ大会に向けて、学校独自の特別ルールを設けて、学部・学科で予選会を行いました。



### <校内ボッチャ大会～決勝トーナメント～>

11月11日(金) 予選を勝ち抜いた8チームが校内ボッチャ大会の決勝トーナメントで戦いました。同じコートに小学部の児童と高等部の生徒が立ち、真剣勝負が繰り広げられ会場は大変盛り上がりました。

